

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		公有林野巡視事業				
	担当課・係名		産業振興課 農政係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		02 林業費	小分類		04 林業の育成（重）		
	目	02 林業振興費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		600	551	600	600	600
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
一般財源		600	551	600	600	600	
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
町有林，林道，作業道							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
町有林野の火災，盗難防止に努め，ゴミ等の不法投棄の監視，森林資源の保全を図る。							
⑤	事業概要						
町有林を王城寺地区，小栗山地区，平沢地区に区分し，それぞれの地区に巡視員1名を配備し，火災等の発生しやすい時期（4月・5月）を重点的に巡回し，火災，盗難防止に努める。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
林産物の不法採取等はほとんど見受けられないが，町道の破損，不法投棄の発見等の方が多い。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
色麻町公有林野巡視規程							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	巡視面積	単位： ha	実績値	1,069	1,069	1,069	
			目標値	0	0	0	
定義							
B	巡視員	単位： 人	実績値	3	4	3	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	巡視面積	単位： ha	実績値	1,069	1,069	1,069	
			目標値	0	0	0	
定義							
B	巡視員	単位： 人	実績値	3	4	3	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	町有財産の保全が目的であり，町の事業として妥当である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	巡視事業を行うことにより災害，盗難防止，ゴミ不法投棄抑制の効果がある。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	3
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	3
評価の説明 点数 11	巡視日数に見合った謝礼にいたっていないのが現状である。そこで，林野事業作業員が巡視にあたる意見があるが，その場合林野事業の実行，効果が大幅に低減する。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	災害，盗難防止が図られている上，不法投棄の抑制効果がある。

⑪	課長総括評価 合計点 46	事業の実施により，災害等の防止が図られ，森林の保全に大きな役割を担っているが，さらに巡視日数を増やし，謝礼を増額し，町有財産の保全に万全を期すべきである。
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		各種林業団体関係事務的負担金事業				
	担当課・係名		産業振興課 農政係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		02 林業費	小分類		04 林業の育成（重）		
	目	02 林業振興費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		167	167	135	135	122
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	167	167	135	135	122
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
林業団体（林業者）							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
森林整備の促進，林業関係諸施策の推進 補助事業の実施による受益者負担，林業団体による森林整備，施策の推進による森林保全と林業の活性化							
⑤	事業概要						
林業団体への負担（H30実績）							
県林業振興協会 25,000円							
県緑化推進委員会 28,500円							
日本さくらの会 5,000円							
大崎森林組合 45,600円							
加美地区山火事防止協議会 10,000円							
宮城北部流域森林・林業活性化センター 20,000円							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
法令外負担金等							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	負担金団体	単位：団体	実績値	6	6	6	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	負担金団体	単位：	実績値	6	6	6	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ	最も適切な方法で行われている	5
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明	林業の活性化を図るため必要である。	
点数	15	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	5
イ	目的を達成するために有効な事業である	5
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明	林業の活性化を図るため必要である。	
点数	15	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	4
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ	受益者負担は適正である	4
評価の説明	類似団体の合併により効果的施策の検討が必要である。	
点数	12	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明	団体への負担により各施策が行われた。	
点数	4	

⑪	課長総括評価	林業の活性化のためには団体の役割は大きく、それぞれの団体による各種施策が行われ、事業促進が図られた。
合計点	46	
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		森林環境保全整備事業				
	担当課・係名		産業振興課 農政係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
		項	02 林業費		小分類	04 林業の育成（重）	
目		03 造林費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
総事業費（千円）			333	286	0	0	2,312
財源 内訳	国県支出金		214	286	0	0	2,312
	その他特定財源		0	0	0	0	0
	一般財源		119	0	0	0	0
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
町有林（人工林：スギ、ヒノキ）							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
森林は、木材生産のほか町土の保全、水資源のかん養、自然環境の保全及び形成等の機能の発揮を通じて、町民生活の向上及び経済の発展に寄与しており、その重要性はますます増大している。このため、森林資源の整備を総合的に推進し、森林の持つ公益的機能が発揮できるよう整備を行う。保育事業（下刈り、除伐、枝打ち、間伐等）を実施し、森林の保全を図る。							
⑤	事業概要						
人工林の保育作業（下刈り、除伐、枝打ち、間伐等） 施行方法：直営（林野事業作業員） 国県補助：40%							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
森林環境保全整備事業実施要綱							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	町有財産の管理を直営により適正に実施している。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	森林整備により、財産の保全はもとより町土の形成、町民生活の向上に効果がある。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	林野事業作業員の雇用により森林作業を実施し、経費削減に努めながら実施している。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	500haの人口スギ林等を対象に、本事業及び町単独事業をあわせ年間100haごと5年のサイクルで管理することにより、健全な森林が増えている。

⑪	課長総括評価	林野作業員を雇用し、経費節減に努めながら保育事業を実施することで町有林の整備が行われた。なお、本町の人工林面積からみると、本事業及び町単独事業をあわせ年間100ha規模の事業量を確保すべきである。なお、今後においては、町森林整備計画書や森林経営計画書の見直しを行い、長伐期施業を対象とする施業の実施が必要である。
	合計点 50	
	今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		松くい虫防除事業				
	担当課・係名		産業振興課 農政係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		02 林業費	小分類		04 林業の育成（重）		
	目	03 造林費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		1,390	1,103	1,820	1,484	595
	財源 内訳	国県支出金	1,422	1,103	1,820	1,484	595
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	-32	0	0	0	0
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
町有林（樹種：アカマツ）							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
町有林内の松林等において、病虫害（松くい虫）被害木の除去，処理により，感染源の除去を行う。被害木の除去と被害拡大防止による森林保全							
⑤	事業概要						
町有林内の病虫害被害マツの伐倒，くん蒸作業							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
森林環境保全整備事業実施要綱							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	伐倒くん蒸面積	単位： ha	実績値	0	5	5	
			目標値	0	0	0	
定義							
B	伐倒くん蒸材積	単位：	実績値	0	51	202	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	本数	単位： 本	実績値	0	50	200	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	町有財産の保全を直営により適正に実施している。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	病害虫によるマツの被害の拡大をくい止め、町内の蔓延を防止している。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	経費的に一番安価な方法である伐倒、くん蒸作業により実施している。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	被害発生林については、発生後早急な対応により全て実施した。

⑪	課長総括評価 合計点 50	被害発生林については、発生後早急な対応を行い、被害拡大防止による森林の保全が図られた。
今後の方向性	縮小	

⑫	二次評価	
今後の方向性		



令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		造林事業				
	担当課・係名		産業振興課 農政係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		02 林業費	小分類		04 林業の育成（重）		
	目	03 造林費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		1,930	1,686	935	815	1,041
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	1,930	1,686	935	815	1,041
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	町有林（人工林：スギ，ヒノキ）						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	健全な森林を育成するため、林野事業作業員を配備することにより、保育事業等の森林の整備、自然環境や自然災害防止などを促進し、森林の役割が健全に発揮できるよう維持管理する。林業基本知識及び技能の習得、造林からの伐採、林道開設等の各技術及び知識の習得、林業機械の整備と運転技術の習得保育事業（下刈り、除間伐、枝打ち）を実施し、森林の保全を図る。林業労働者の中核となる林業技能作業士の育成						
⑤	事業概要						
	人工林の保育作業（下刈り、除伐、枝打ち、間伐等） 施行方法：直営（林野事業作業員） 森林の適正な維持管理を推進するため、林業労働者に対し専門的スキル・知識を習得させ、地域林業労働者の育成を図る。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	林野事業作業員人数	単位：	実績値	8	8	8	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	町有財産の管理を直営により適正に実施している。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	森林整備により、財産の保全はもとより町土の形成、町民生活の向上に効果がある。 作業能率向上及び事故発生予防
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	林野作業員雇用により森林作業を実施し、経費削減に努めながら実施している。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	3
評価の説明 点数 3	平成28年度から林野事業作業員が8人2班体制になったことから、施業できる面積が減少しつつある（以前は9人3班体制）。

⑪	課長総括評価	本町の人工林面積からみると、本事業及び森林環境保全整備事業事業等をあわせ、年間100ha規模の事業量を確保すべきである。
	合計点 48	
	今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		林道維持事業				
	担当課・係名		産業振興課 農政係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		02 林業費	小分類		04 林業の育成（重）		
	目	04 林道維持費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		2,872	2,441	4,096	3,868	5,284
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	850	850	500	500	600
		一般財源	2,022	1,591	3,596	3,368	4,684
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
町林道，作業道							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
林道，作業道の整備により森林施業の効率化と通行事故の防止を図る。							
⑤	事業概要						
林道の総延長は9,197mで，林道密度は9.24m/haであり，作業道は25,036mとなっている。これらの林道，作業道の補修を実施し森林施業の効率化と通行事故防止を図る。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
林道の多くは町道となったが，路肩等の草刈，水抜き作業等は林野事業作業員が実施している状況である。そのため，町道を管理している担当課と調整を図る必要がある。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	整備林道延長	単位： m	実績値	9,197	9,197	9,197	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	整備林道延長	単位： m	実績値	9,197	9,197	9,197	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

<b>⑩ 目的妥当性の評価</b>	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	町有林等の財産管理に必要な施設であり，町で管理すべきである。
<b>有効性の評価</b>	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	森林管理，災害発生時の使用など常に整備しておくべきである。
<b>効率性の評価</b>	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	林野事業作業員を雇用し，直営により補修が必要な箇所については，必要最小限の整備を行っている。
<b>達成度の評価</b>	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	直営事業により常に迅速な対応を行っており，町有財産の管理や災害時の通行条件が満たされている。

<b>⑪</b>	課長総括評価	林野事業作業員を雇用し，直営により整備をすすめて必要最小限の経費で行ってきたが，大規模な修繕が必要であり，委託することも視野に入れなければならない。 また，維持管理程度の修繕であっても，知識を有する者や林業機械がないことが今後の課題である。
	合計点 50	
	今後の方向性	現状のまま継続

<b>⑫</b>	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		林産事業					
	担当課・係名		産業振興課 農政係					
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ		
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成		
		項	02 林業費		小分類	04 林業の育成（重）		
目		05 林産事業費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>					
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算	
	総事業費（千円）		2,234	1,837	2,494	2,318	553	
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0	
		その他特定財源	0	0	0	0	0	
		一般財源	2,234	1,837	2,494	2,318	553	
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。								
③	対象（誰、何を対象にするのか）							
	町内林（人工林：スギ，ヒノキ，マツ類等）							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）							
	良質材生産及び健全な森林育成に不可欠な皆伐・間伐事業を促進し，また，木材の有効利用を図りながら森林の持つ多面的機能を発揮できる森林を整備する。							
⑤	事業概要							
	皆伐・間伐事業（主に人工林/スギ 売り払いまで行う。） 木材加工事業（木材加工品の販売，公共施設への利用）							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について							
	木材販売価格が低迷している中，収入間伐等を見合わせている状況であったが，平成26年度より再開し，町有林材の売り払いを行っている。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）							
	指 標 名			H28	H29	H30		
	A	材積	単位：	実績値	140	313	205	
				目標値	0	0	0	
	定義							
	B		単位：	実績値	0	0	0	
				目標値	0	0	0	
	定義							
	⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
		指 標 名			H28	H29	H30	
A		材積	単位：	実績値	0	0	0	
				目標値	0	0	0	
定義								
B			単位：	実績値	0	0	0	
				目標値	0	0	0	
定義								

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	3
イ 最も適切な方法で行われている	3
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	3
評価の説明 点数 9	町有財産の管理を直営により適正に実施している。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 14	直営の木材加工施設があるため、木材の有効利用が出来た。また、施業を行うことにより森林の健全化が図られる。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	3
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	3
ウ 受益者負担は適正である	3
評価の説明 点数 9	林野事業作業員が直接加工するため、原材料費等の経費削減に努めながら実施出来る。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	3
評価の説明 点数 3	高性能林業機械がないため、直営では限界がある。

⑪	課長総括評価 今後、壮齢林・老齢林の増加に伴い事業量の増加が懸念される。高性能林業機械がないため、直営による方法ではなく、委託することも視野に入れたい。 また、有効利用の観点から木材別の使い方の開拓が必要である。
合計点 35	
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	